

第3次

能代市こども読書活動推進計画



令和7（2025）年3月

能代市

能代市教育委員会

「子ども」及び「こども」の表記について

本計画における「子ども」及び「こども」の表記については、次のとおりとします。

- ・「法令」や「既存の計画」等における「子ども」を引用する場合は、そのまま表記します。
- ・その他は「こども」と表記します。

は じ め に

いつの時代も、こどもは家族の宝、そして社会の宝であり、未来を担うこどもの「生きる力」を育むことは、家族のみならず我々大人の責務でもあります。

本市ではこの考えのもと、こどもたちが自らの考えをもって行動する力や、自ら課題を解決する力を培うとともに、この先の長い人生をより幸せに生きるための知識、知恵等を身に付けることができるよう、「第2次能代市子ども読書活動推進計画」に基づき、こどもの読書活動の推進に取り組んでまいりました。

しかしながら、令和6（2024）年に公表された秋田県学習状況調査の結果において、全県的に学齢が上がるにつれて不読率が高くなる傾向が示されるなど、こどもの読書習慣が必ずしも十分に形成されていない現状が明らかとなっており、本市におきましても同様の傾向にあります。

また、近年は、人口減少や少子高齢化に加え、地震や大雨等の自然災害の増加、新たな感染症の発生や物価の高騰等、我々を取り巻く環境の変化は予測が困難となっております。とりわけ、人口減少や少子高齢化は将来への不安をかきたてる大きな問題ではありますが、このような不透明な将来を支えていくのは、まさに今のこどもたちであります。

こうした状況を踏まえ、こどもたちが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、豊かな創造力をもって未来を切り拓いていけるよう、第3次となる本計画を策定し、こどもの読書活動を更に推進していくことといたしました。

こどもの読書活動を推進させるには、幼少期における読み聞かせ等の充実のほか、こども自身に読書の楽しさ等を伝えることにより、自発的な読書につなげることが大切です。また、家庭、学校等を含めた地域全体でこどもの読書活動の推進に取り組むことにより、こどもの“ゆめ創り”のほか、地域における“ひと創り、つながり創り”にも期待ができます。このような考えから、本計画の基本理念を「こどもから大人まで、読書の“わ”でつながるまち のしろ」としましたので市民の皆様には、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びになりますが、本計画の策定にあたりまして、貴重なご意見をいただきました第3次能代市こども読書活動推進計画策定委員会の皆様をはじめ、ご協力いただきました多くの市民の皆様へ心より感謝申し上げます。

令和7（2025）年3月

能代市長 齊藤 滋 宣



目 次

第1章 計画の策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨 … P 1
- 2 計画の位置づけ … P 2
- 3 計画の期間 … P 2
- 4 計画の対象 … P 2

第2章 第2次計画期間における取組実績、成果、現状（課題）等

- 1 第2次計画の目標及び施策体系 … P 3
- 2 主な取組実績、成果、現状（課題）等 … P 3

第3章 第3次計画の基本的な方向

- 1 基本理念 … P 1 3
- 2 基本的視点（基本施策） … P 1 4

第4章 第3次計画における施策の展開等

- 1 施策の展開 … P 1 6
- 2 目標指標 … P 1 9

第5章 計画の進捗管理

… P 2 0

本計画の“こども向け版”について

… P 2 1

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

こどもたちが、豊かな心、豊かな身体をもって、この先の長い人生をたくましく、幸せに生きていくことは我々の大きな願いであります。これをかなえるため、我々はこどもたち一人一人が将来に希望をもつことができるよう、また、地域、社会をリードしていく力や多様な発想力等を身に付けることができるよう、一人一人を温かく見守りながら育んでいく必要があります。

読書は、こどもが成長する過程で必要となる知識、知恵等を与えてくれるなど、こどもにとって大きな力となります。また、語彙力、文章力、表現力、創造力等を与えてくれるほか、見た目の楽しさ、想像する楽しさ、新たな気付き、驚き等を与えてくれるなど、人生をより幸せに過ごすための良いパートナーになるものと考えます。

このような考えのもと、本市では、「第2次能代市子ども読書活動推進計画」（以下「第2次計画」といいます。）に基づき、家庭、地域、学校等で連携し、こどもの発達段階ごとに読書活動を推進してきました。

しかしながら、依然として学齢とともに不読率が高くなるなど、こどもの読書習慣は必ずしも十分に形成されていない状況にあります。

このような状況を踏まえ、こどもたちが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、豊かな創造力をもって未来を切り拓いていけるよう、そして人生100年時代をより幸せに生きられるよう、第3次能代市子ども読書活動推進計画（以下「第3次計画」といいます。）を策定し、こどもの読書活動を更に推進することとしました。



「図書館での校外学習」

2 計画の位置付け

「子どもの読書活動の推進に関する法律」において、市町村は国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」及び都道府県の「子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画」を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するよう努めなければならないこととされております。

このことから、国の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（令和5（2023）年3月策定）及び「第3次秋田県読書活動推進基本計画」（令和3（2021）年3月策定）との整合性を図りながら本計画を策定することとしました。

また、本市の最上位計画である「第2次能代市総合計画」のほか、「能代市教育等の振興に関する施策の大綱」及び「第4次能代市社会教育振興中期計画」等、教育分野における計画等と整合性を図ることとしました。

3 計画の期間

本計画の期間は、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が概ね5年ごとに見直されていること等を踏まえ、令和7（2025）年度から令和11（2029）年度までの5年間とします。

4 計画の対象

本計画の対象は、0歳から概ね18歳までのこども及びその保護者とします。



第2章 第2次計画期間における取組実績、成果、現状（課題）等

1 第2次計画の目標及び施策体系

第2次計画では、目標を「子どもが気軽に読書に親しむことができる環境の整備」、目標指標を「県学習状況調査による不読率が県平均を下回る」とし、三つの基本施策のもと、こどもの読書活動を推進してきました。

（施策の体系）

基本施策1 家庭における子どもの読書活動の推進

- （1）家庭での読み聞かせを推進します
- （2）子どもと大人が一緒に本に親しめる機会を提供します

基本施策2 地域における子どもの読書活動の推進

- （1）図書館において子どもへのサービスの充実に努めます
- （2）関係機関が連携して子どもの読書活動を推進します

基本施策3 学校等における子どもの読書活動の推進

- （1）保育所・認定子ども園における読書環境の充実に努めます
- （2）小・中学校における読書環境の充実に努めます

2 主な取組実績、成果、現状（課題）等

（1）主な取組実績

上記の基本施策1から3に基づいた主な取組実績は次のとおりです。

区 分	対 象	分 類	取組の内容	直近3か年の実績		
				R3	R4	R5
1 家庭における読書活動の推進	(1) 未就学児	読み聞かせ等	赤ちゃんやパパ、ママの名前等が登場する世界に1冊だけのオリジナル絵本のプレゼント「すまいる・めんchoco定期便」	30人	27人	16人
		本の紹介	市立図書館が絵本等を紹介「どの本読もうかな」	3回	3回	3回
	(2) 未就学児、小学生、中学生	本の紹介	家庭教育に関する本の紹介	1回	1回	1回
	(3) 未就学児、小学生、中学生、高校生	本の紹介	広報のしろでお薦めの本を紹介「読んでみて！わたしの推し本」	11回	11回	11回

区 分	対 象	分 類	取組の内容	直近3か年の実績		
				R3	R4	R5
	(4)小学生	読書のきっかけづくり	秋田杉のブックスタンドをプレゼント	毎年度小学4年生へ（授業で組み立て）		
	(5)小学生、中学生	読書の記録	読書の記録用「能代っ子家読（うちどく）通帳」を配付	毎年度小学1年生、小学3年生、中学1年生へ		
2 地域における読書活動の推進	(1)未就学児	読み聞かせ等	乳幼児健診等で「絵本の読み聞かせ」等	随時実施		
	(2)未就学児、小学生	読み聞かせ等	市立図書館等で「絵本の読み聞かせ」「手遊びを交えたおはなし会」「ぬいぐるみのおとまり会」等	21回 137人	36回 150人	44回 324人
		読書のきっかけづくり	市立図書館で映画の上映及び関連本の展示	14回 49人	15回 23人	14回 58人
			市立図書館でクイズに答えたり、本を借りたりして、スタンプを集める「スタンプラリー」	17人 ※達成者	19人 ※達成者	109人 ※達成者
	(3)未就学児、小学生、中学生、高校生	読書のきっかけづくり	新春に、市立図書館で何の本が入っているか分からない、ワクワクする形で本を借りる「としょかん福袋」、運勢とお薦め本のおみくじを引く「としょかんおみくじ」	84人	90人	104人
	(4)小学生	読書のきっかけづくり	市立図書館の仕事を体験「1日図書館員」	2回 5人	2回 4人	2回 5人
	(5)小学生、中学生	読書のきっかけづくり	市立図書館が購入する本を選ぶ「選書体験」	3回 54人	4回 42人	4回 51人



区 分	対 象	分 類	取組の内容	直近3か年の実績		
				R3	R4	R5
			市立図書館が夏休みの自由研究等をサポート「調べ学習おてつだい隊」	随時実施		
	(6) 中学生、高校生	読書のきっかけづくり	面白いと思った本を持ち寄り、紹介（発表）、ディスカッションを経て、一番読みたくなった本を投票で決めるゲーム「ビブリオバトル」	2回 12人	2回 11人	2回 14人
3 学校等における読書活動の推進	(1) 未就学児、小学生	読み聞かせ等	保育所、図書委員、教員等による「絵本の読み聞かせ」等	随時実施		
	(2) 小学生	読み聞かせ等	異学年による「読み聞かせ」等	随時実施		
			中学生による「読み聞かせ」等	随時実施		
		読書のきっかけづくり	学校図書館で借りた本の冊数に応じた「スタンプラリー」	随時実施		
			学校図書館で借りた本の種類に応じた「読書ビンゴ」	随時実施		
			図書支援員が選んだ本をみんなで読み進める「読書リレー」	随時実施		
	(3) 小学生、中学生、高校生	読書のきっかけづくり	新着図書、図書委員・教員によるお薦めの本、多読賞、読書感想文コンクール入賞者、ビブリオバトルの参加者、イベントの紹介等（学校図書館だより）	随時発行		
	(4) 中学生	読書のきっかけづくり	学校図書館で読みたい本をリクエストする「リクエストカード」	随時実施		

〔再掲（こどもの発達段階ごと）〕

区 分	分 類	取組の内容	備 考
1 未就学児	(1) 読み聞かせ等	赤ちゃんやパパ、ママの名前等が登場する世界に1冊だけのオリジナル絵本のプレゼント「すまいる・めんchoco定期便」	・市
		乳幼児健診、保育所等で「絵本の読み聞かせ」等	・市 ・保育所等
		市立図書館等で「絵本の読み聞かせ」「手遊びを交えたおはなし会」「ぬいぐるみのおとまり会」等	・市立図書館 ・読み聞かせグループ
	(2) 本の紹介	絵本等の紹介「どの本読もうかな」、家庭教育に関する本の紹介、広報のしるでお薦めの本を紹介「読んでみて！わたしの推し本」	・市教委 ・市立図書館
	(3) 読書のきっかけづくり	市立図書館等で映画の上映及び関連本の展示	・市立図書館
		市立図書館でクイズに答えたり、本を借りたりして、スタンプを集める「スタンプラリー」	・市立図書館
		新春に、市立図書館等で何の本が入っているか分からない、ワクワクする形で本を借りる「としょかん福袋」、運勢とお薦め本のおみくじを引く「としょかんおみくじ」	・市立図書館
2 小学生	(1) 読み聞かせ等	市立図書館等で「絵本の読み聞かせ」「手遊びを交えたおはなし会」「ぬいぐるみのおとまり会」等	・市立図書館 ・読み聞かせグループ
		図書委員、教員等による「絵本の読み聞かせ」等	・小学校
		異学年による「読み聞かせ」等	・小学校
		中学生による「読み聞かせ」等	・小学校
	(2) 本の紹介	家庭教育に関する本の紹介、広報のしるでお薦めの本を紹介「読んでみて！わたしの推し本」	・市教委
	(3) 読書の記録	読書の記録用として、小学1年生、小学3年生に「能代っ子家読（うちどく）通帳」を配付	・市教委

区 分	分 類	取組の内容	備 考
	(4) 読書のきっかけづくり	秋田杉のブックスタンドキットを小学4年生へプレゼント（授業で組み立て）	・市教委
		市立図書館で映画の上映及び関連本の展示	・市立図書館
		市立図書館でクイズに答えたり、本を借りたりして、スタンプを集める「スタンプラリー」	・市立図書館
		新春に、市立図書館で何の本が入っているか分からない、ワクワクする形で本を借りる「としょかん福袋」、運勢とお薦め本のおみくじを引く「としょかんおみくじ」	・市立図書館
		市立図書館の仕事を体験「1日図書館員」	・市立図書館
		市立図書館が購入する本を選ぶ「選書体験」	・市立図書館
		市立図書館が夏休みの自由研究等をサポート「調べ学習おてつだい隊」	・市立図書館
		学校図書館で借りた本の冊数に応じた「スタンプラリー」	・小学校
		学校図書館で借りた本の種類に応じた「読書ビンゴ」	・小学校
		図書支援員が選んだ本をみんなで読み進める「読書リレー」	・小学校
		学校図書館で読みたい本をリクエストする「リクエストカード」	・小学校
		新着図書、図書委員・教員によるお薦めの本、多読賞、読書感想文コンクール入賞者、ビブリオバトルの参加者、イベントの紹介等（学校図書館だより）	・小学校
3 中学生	(1) 本の紹介	家庭教育に関する本の紹介、広報のしるでお薦めの本を紹介「読んでみて！わたしの推し本」	・市教委
	(2) 読書の記録	読書の記録用として、中学1年生に「能代っ子家読（うちどく）通帳」を配付	・市教委

区 分	分 類	取組の内容	備 考
	(3) 読書のきっかけづくり	新春に、市立図書館で何の本が入っているか分からない、ワクワクする形で本を借りる「としょかん福袋」、運勢とお薦め本のおみくじを引く「としょかんおみくじ」	・市立図書館
		市立図書館が購入する本を選ぶ「選書体験」	・市立図書館
		市立図書館で夏休みの自由研究等をサポート「調べ学習おてつだい隊」	・市立図書館
		面白いと思った本を持ち寄り、紹介(発表)、ディスカッションを経て、一番読みたくなった本を投票で決めるゲーム「ビブリオバトル」	・市立図書館
		新着図書、図書委員・教員によるお薦めの本、多読賞、読書感想文コンクール入賞者、ビブリオバトルの参加者、イベントの紹介等(学校図書館だより)	・学校図書館
4 高校生	(1) 本の紹介	広報のしろでお薦めの本を紹介「読んでみて！わたしの推し本」	・市教委
	(2) 読書のきっかけづくり	新春に、市立図書館で何の本が入っているか分からない、ワクワクする形で本を借りる「としょかん福袋」、運勢とお薦め本のおみくじを引く「としょかんおみくじ」	・市立図書館
		面白いと思った本を持ち寄り、紹介(発表)、ディスカッションを経て、一番読みたくなった本を投票で決めるゲーム「ビブリオバトル」	・市立図書館
		新着図書、図書委員・教員によるお薦めの本、多読賞、読書感想文コンクール入賞者、ビブリオバトルの参加者、イベントの紹介等(学校図書館だより)	・学校図書館

(2) 成 果

- ・第2次計画期間の大半はコロナ禍にありましたが、感染拡大防止に努めながらこどもの読書活動の推進に取り組んだ結果、各年度において目標指標「県学習状況調査による不読率が県平均を下回る」を概ね達成することができました。
- ・地域の読み聞かせグループ等で「絵本の読み聞かせ」「手遊びを交えたおはなし会」「ぬいぐるみのおとまり会」等に取り組んだ結果、こどもたちに読書の楽しさ等を伝えるとともに、新たな本との出会いを創出できたものと考えます。
- ・小学校高学年から低学年、中学生から小学生への「読み聞かせ」に取り組んだ結果、「読み聞かせ」をするこどもと、「読み聞かせ」を受けるこどもの読書活動のみならず、異年齢のこどもの交流につながったものと考えます。

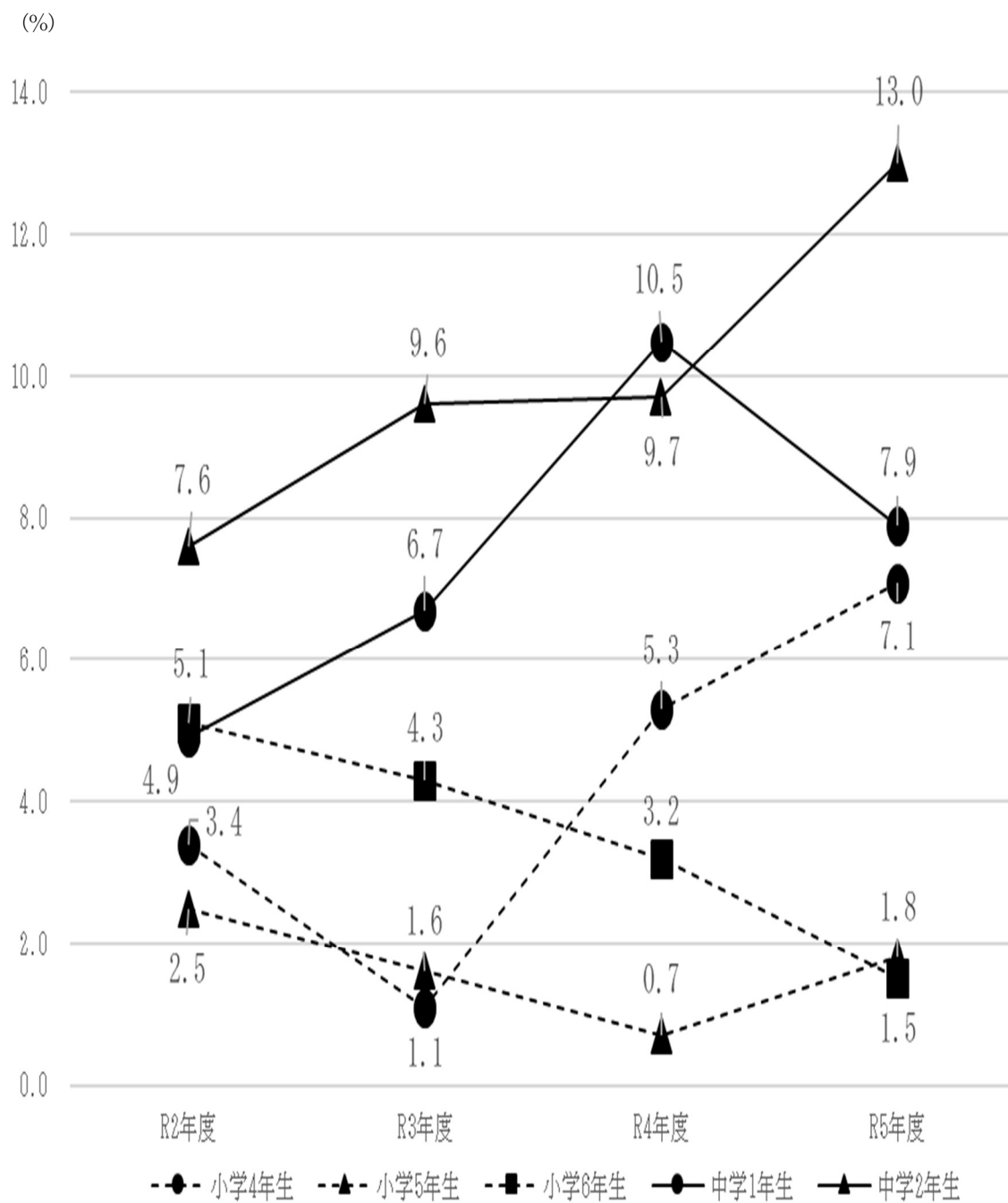
(3) 現状（課題）等

- ・令和6（2024）年に公表された秋田県学習状況調査の結果において、全県的に学齢が上がるにつれて不読率（1か月の間に本を1冊も読まない児童・生徒の割合）が高くなる傾向のほか、読書の好きなこどもの割合が低くなる傾向が示されるなど、こどもの読書習慣が必ずしも十分に形成されていない現状が明らかとなっており、本市においても同様の傾向にあります。
- ・近年は、こどもがスマートフォン等のアプリを利用し一人で読書を楽しむ機会も多くなっています。現代の情報化社会においては、スマートフォン等を活用した読書も一定の有用性があると考えますが、特に幼少期では「読み聞かせ」等を通じた家族のふれあいが大切であり、このふれあいの中で読書をいかに習慣づけられるかが課題であると考えます。



「ハロウィンおはなし会」

[参考①]本市の児童等における不読率の推移（秋田県学習状況調査）



[参考②]本市の児童等における不読率と秋田県平均との比較(秋田県学習状況調査)

・小学4年生

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
能代市 (A)	3.4%	1.1%	5.3%	7.1%
秋田県平均 (B)	3.6%	3.7%	5.5%	4.9%
比 較 (A) - (B)	△0.2P	△2.6P	△0.2P	+2.2P

・小学5年生

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
能代市 (A)	2.5%	1.6%	0.7%	1.8%
秋田県平均 (B)	5.1%	5.3%	7.2%	7.3%
比 較 (A) - (B)	△2.6P	△3.7P	△6.5P	△5.5P

・小学6年生

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
能代市 (A)	5.1%	4.3%	3.2%	1.5%
秋田県平均 (B)	6.1%	6.4%	7.5%	9.3%
比 較 (A) - (B)	△1.0P	△2.1P	△4.3P	△7.8P

・中学1年生

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
能代市 (A)	4.9%	6.7%	10.5%	7.9%
秋田県平均 (B)	7.2%	9.0%	9.8%	10.0%
比 較 (A) - (B)	△2.3P	△2.3P	+0.7P	△2.1P

・中学2年生

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
能代市 (A)	7.6%	9.6%	9.7%	13.0%
秋田県平均 (B)	9.4%	8.8%	13.3%	13.7%
比 較 (A) - (B)	△1.8P	+0.8P	△3.6P	△0.7P



[参考③]本市における読書の好きな児童等の割合と秋田県平均との比較(秋田県学習状況調査)

・小学4年生

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
能代市 (A)	87.0%	91.0%	87.6%	83.1%
秋田県平均 (B)	86.5%	85.1%	83.4%	83.0%
比 較 (A) - (B)	+0.5P	+5.9P	+4.2P	+0.1P

・小学5年生

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
能代市 (A)	86.5%	87.5%	86.9%	86.4%
秋田県平均 (B)	83.7%	82.6%	78.3%	78.4%
比 較 (A) - (B)	+2.8P	+4.9P	+8.6P	+8.0P

・小学6年生

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
能代市 (A)	86.7%	84.2%	81.6%	82.5%
秋田県平均 (B)	82.1%	80.6%	77.8%	74.4%
比 較 (A) - (B)	+4.6P	+3.6P	+3.8P	+8.1P

・中学1年生

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
能代市 (A)	84.5%	77.6%	74.9%	67.9%
秋田県平均 (B)	80.5%	78.2%	75.3%	72.9%
比 較 (A) - (B)	+4.0P	△0.6P	△0.4P	△5.0P

・中学2年生

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
能代市 (A)	74.8%	77.2%	76.5%	69.7%
秋田県平均 (B)	78.0%	79.1%	74.3%	72.3%
比 較 (A) - (B)	△3.2P	△1.9P	+2.2P	△2.6P

第3章 第3次計画の基本的な方向

1 基本理念

こどもの読書活動には、次のような傾向があります。

○読書量が多いこどもは、

- ・社会の出来事等に関心が高い
- ・自分に自信をもっているなど、自己肯定感が高い
- ・将来の目標が明確になっている
- ・文化活動を体験すること、自身で疑問を調べること等が多い

○幼少期に保護者等からの読み聞かせを多く受けたこどもは、その後の読書量が多い

○幼少期の読書量が多いこどもは、その後の読書量も多い

○蔵書が多い家庭、保護者が本を読む楽しさや大切さ等を伝えている家庭のこどもは、読書量が多い

これらを踏まえると、こどもの読書活動を推進させるには、幼少期における「読み聞かせ」等の機会を充実させるほか、こども自身に読書の楽しさや大切さ等を伝えることにより、自発的な読書につなげることが重要と考えます。

また、家庭、学校等を含めた地域全体でこどもの読書活動の推進に取り組むことにより、こどもの“ゆめ創り”のほか、地域における“ひと創り、つながり創り”にも期待ができます。

こうした考えから、本計画における基本理念を



「こどもから大人まで、読書の“わ”でつながるまち のしろ」

とします。

2 基本的視点（基本施策）

前述の基本理念を踏まえ、次の視点でこどもの読書活動の推進に取り組みます。

視点① 幼少期の読書

未就学児から小学生、その保護者における 読書活動の重点的な推進

近年は、学齢が上がるにつれてスマートフォン等の普及が進み、こどもたちがゲームやSNS等を楽しむ機会が増加しておりますが、このことがこどもの読書活動に少なからず影響を与えている可能性があります。

現代の情報化社会において、スマートフォン等の存在は重要度を増しておりますが、このような状況下でもこどもの読書活動を推進させるには、スマートフォン等に接する機会の少ない幼少期において、こどもの読書習慣を形成することが非常に重要です。

しかしながら、読書の習慣は自然に身に付くものではありません。

幼少期から、本が身近にある環境を整えるとともに、「読み聞かせ」等を通じてこどもとふれあうことや、一緒に読書を楽しむことが、こどもの読書活動にとって非常に大切となります。また、「読み聞かせ」やこどもと一緒に読書を楽しむ体験は、全ての教育の出発点である家庭教育（保護者がこどもに対して行う教育）においても重要な役割を果たしています。



「ぬいぐるみのおとまり会」

視点② こどもによる自発的な読書

こどもへ読書の楽しさや大切さ等を伝える 環境づくり

蔵書が多い家庭、保護者が本を読む楽しさや大切さ等を伝えている家庭のこどもは、読書量が多い傾向にあります。

保護者が読書を楽しみ、読書をする姿をこどもに示すことで、こどもは読書に対する興味を抱きます。また、本を読む楽しさや大切さ等を丁寧に伝えながら読書を勧めることで自発的な読書につながります。

○読書の楽しさ

- ・絵本を「見た目」で楽しむことができます
- ・「気付く」「想像する」等の楽しさを感じることができます
- ・友人の感想と「比較する」楽しさ（驚き、新たな気付き）を感じることができます

○読書により身に付くもの

- ・新たな知識、知恵等を増やすことができます
- ・頭と心が整理できるようになります
- ・自身で考える力が鍛えられます
- ・人との会話に深みが出ます
- ・理論的な考え方ができるようになります

○紙媒体の読書、電子書籍の読書との違い

- ・紙媒体の本を読むときは、本に触れる肌の感覚も印象に残るほか、じっくりと相手の話を聞くような気持ちになれます
- ・電子書籍は、いつでもどこでも読書ができるなどのメリットがある一方、本に触れる感覚が得られない（印象に残りにくい）といったデメリットもあります

視点③ 家庭、地域、学校等の連携

こどもの“ゆめ創り”と地域における “ひと創り、つながり創り”

こどもの読書活動は、家庭、地域、学校等がそれぞれの立場において推進することはもとより、それぞれが連携して取り組むことにより更なる推進が期待できます。

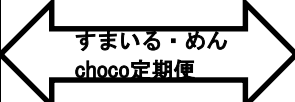
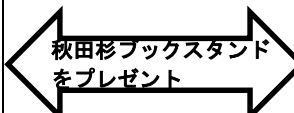
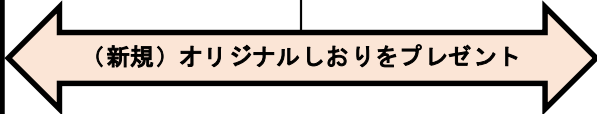
また、家庭、学校等を含めた地域全体で取り組むことにより、こどもの“ゆめ創り”のほか、地域における“ひと創り、つながり創り”にも期待ができます。

第4章 第3次計画における施策の展開等

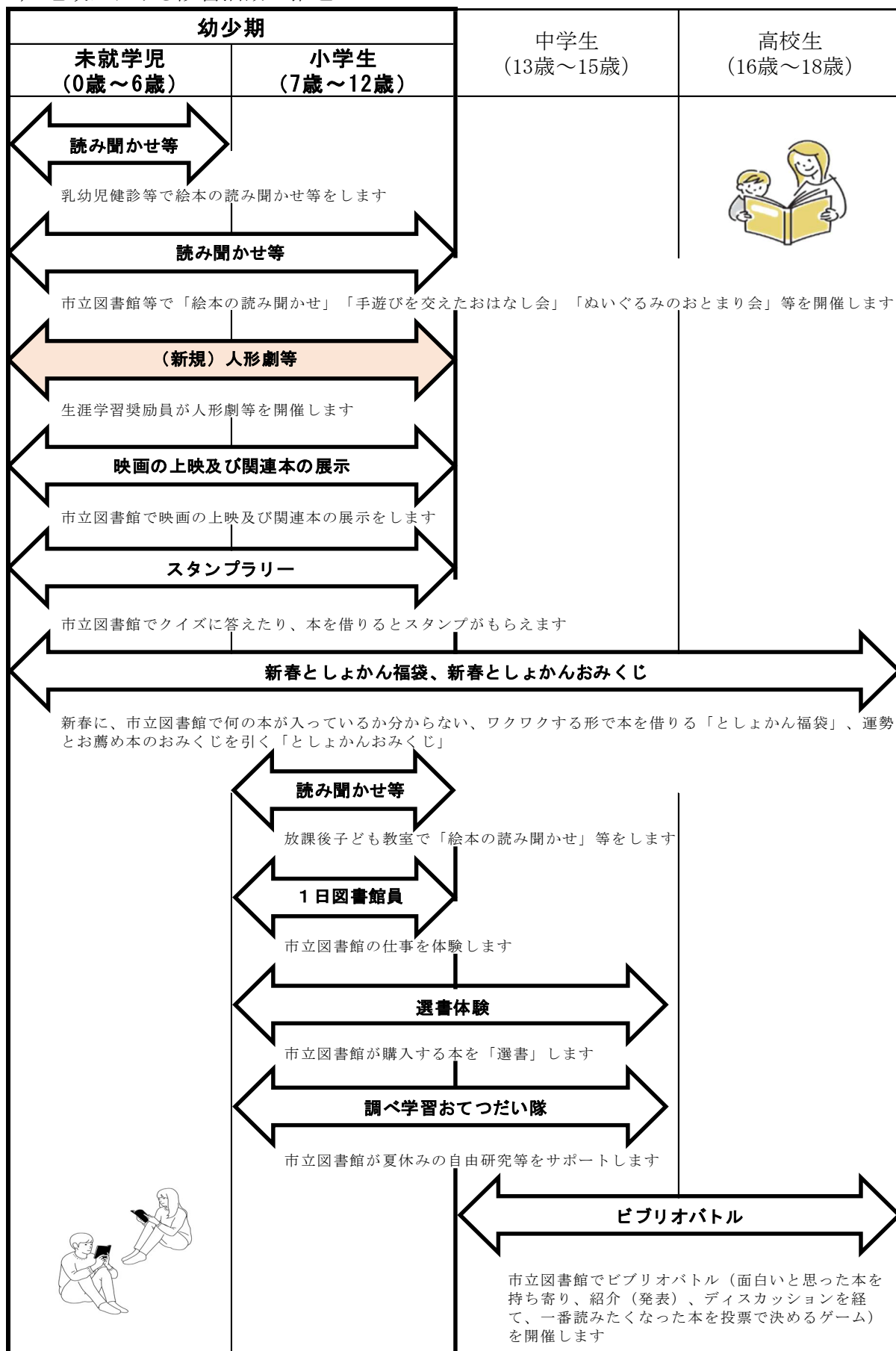
1 施策の展開

第2次計画期間における成果や現状（課題）等を踏まえ、こどもの発達段階ごとに、こどもの読書活動を推進しますが、市の財政状況等を勘案した上で施策の展開を図ることとします。

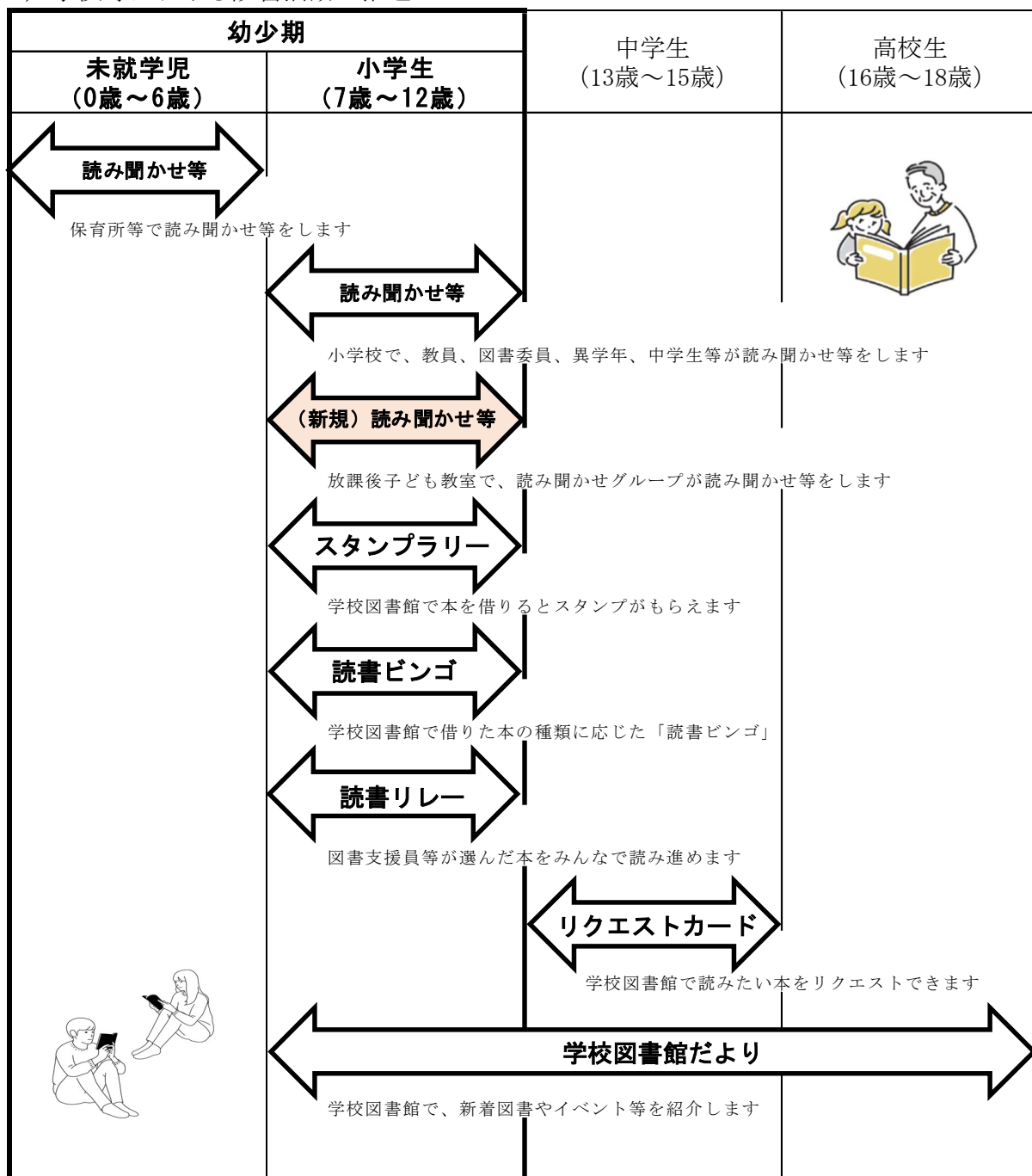
（1）家庭における読書活動の推進

幼少期		中学生 (13歳～15歳)	高校生 (16歳～18歳)
未就学児 (0歳～6歳)	小学生 (7歳～12歳)		
 すまいる・めん choco定期便 出生時にオリジナル絵本をプレゼントします			
 （新規）ブックスタート 4か月児健診時に読み聞かせ絵本をプレゼントします			
 どの本読もうかな 市立図書館が絵本等を紹介します			
 家庭教育に関する本の紹介 市教委が家庭教育に関する本を紹介します			
 （新規）家庭教育通信 Only one（番外編） 社会教育指導員が読書の楽しさや大切さ等を伝えます			
 「読んでみて！わたしの推し本」 広報のしろでお薦めの本を紹介します			
	 秋田杉ブックスタンドをプレゼント 小学4年生へ秋田杉ブックスタンドをプレゼントします（授業で組み立て）		
		 （新規）オリジナルしおりをプレゼント 中学1年生、高校1年生へ能代市オリジナルしおりをプレゼントします	

(2) 地域における読書活動の推進



(3) 学校等における読書活動の推進



(4) 大人も（大人になっても）読書活動

こどもの読書活動を推進させるには、大人も（大人になっても）読書を楽しみ、読書をする姿をこどもに示すことも非常に重要です。

また、こどもと一緒に読書をする、こどもと一緒に図書館を利用するなどにより、こどもは本を身近に感じるようになります。また、家族みんなで読書をし、感想を語り合うことにより、家族のコミュニケーションにもつながります。

分 類	取組の内容	備 考
1 読書の魅力の紹介	読書の楽しさや大切さ等を伝える家庭教育通信「Only one（番外編）」	(新 規) ・市教委
2 本の紹介	広報のしろでお薦めの本を紹介「読んでみて！わたしの推し本」	・市教委
3 読書のきっかけづくり	市立図書館で読書につながる各種講座等を開催（俳句大会、講話等）	・市教委 ・市立図書館
	新春に、市立図書館で何の本が入っているか分からない、ワクワクする形で本を借りる「としょかん福袋」運勢とお薦め本のおみくじを引く「としょかんおみくじ」	・市立図書館

2 目標指標

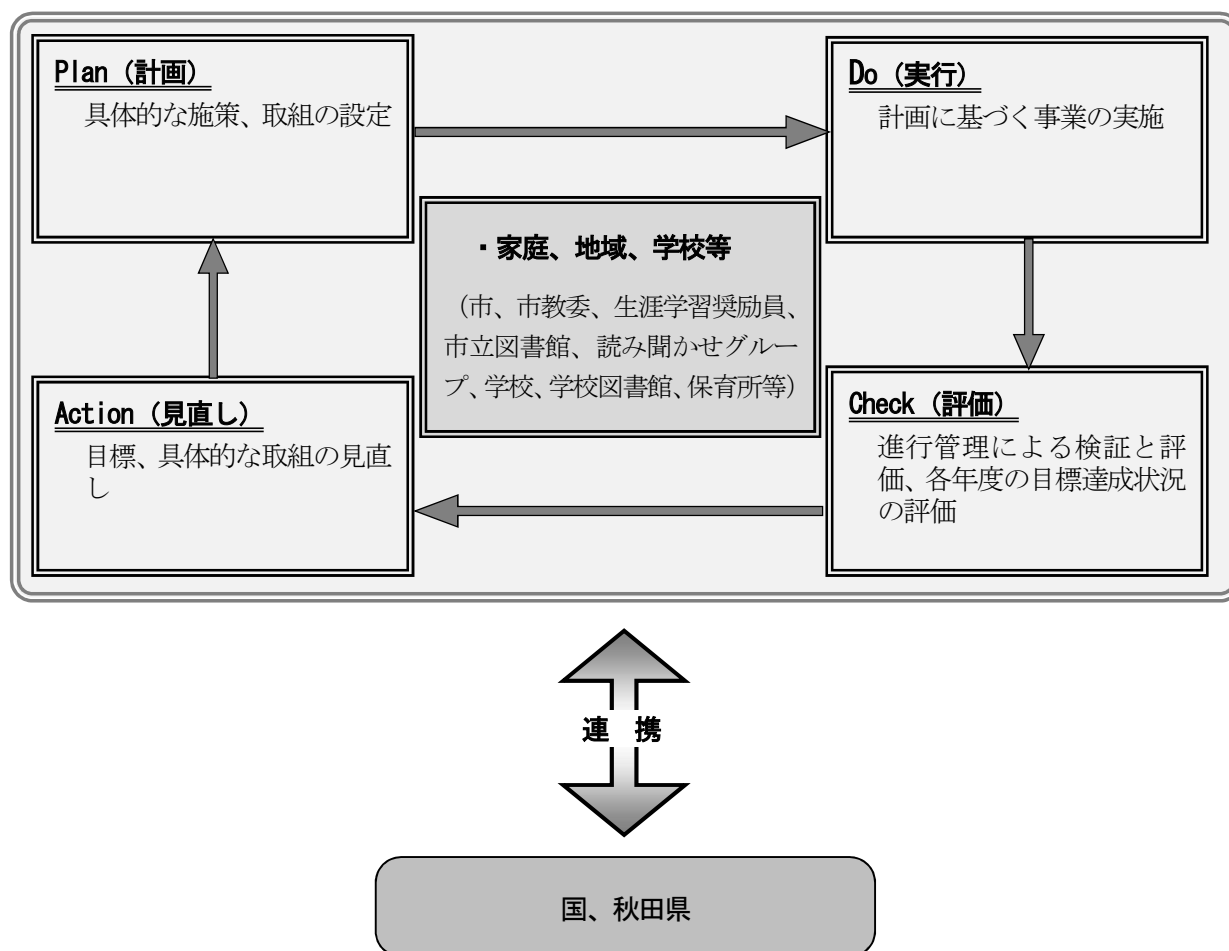
施策の成果を評価する指標として、次の目標指標を設定します。

項 目	現状値 (R5)	目標値 (R11)	備 考
不読率（1か月の間に本を1冊も読まない児童・生徒の割合）	小4	7.1%（県平均比較+2.2P）	県平均未満 秋田県学習状況調査
	小5	1.8%（県平均比較△5.5P）	
	小6	1.5%（県平均比較△7.8P）	
	中1	7.9%（県平均比較△2.1P）	
	中2	13.0%（県平均比較△0.7P）	
読書の好きな児童・生徒の割合	小4	83.1%（県平均比較+0.1P）	県平均以上 秋田県学習状況調査
	小5	86.4%（県平均比較+8.0P）	
	小6	82.5%（県平均比較+8.1P）	
	中1	67.9%（県平均比較△5.0P）	
	中2	69.7%（県平均比較△2.6P）	
読書の好きな市民の割合	60.5%（県平均比較+8.1P）	65.0%	市民意識調査

第5章 計画の進捗管理

計画の立案（Plan）、実行（Do）、目標達成状況の評価（Check）、必要に応じた取組内容の見直し（Action）等を行いながら、また、国や県、家庭、地域、学校等と連携し、こどもの読書活動を推進します。

<計画の進捗管理体制>



～ 本計画の“こども向け版”について ～

本市における読書が好きな児童、生徒の割合は概ね70%から80%前後（12ページの参考③「本市における読書が好きな児童等の割合と秋田県平均との比較」）となっており、これは、児童、生徒の3人から5人に1人は読書が好きではない、あるいは3人から5人に1人へ読書の楽しさや大切さ等を伝えられていないという見方もできます。

一方、未就学児の読書については秋田県学習状況調査等の対象となっていないため、市独自でアンケートを実施したところ結果は次のとおりとなりました。

※未就学児の読書に関するアンケート結果等

1 アンケート対象者

市立保育所にこどもを通わせている129世帯（R6.9.1時点）

2 調査期間

令和6年9月～10月

3 回答率

80.6%（104世帯／129世帯）

4 アンケート結果

（1）こどもの読書が大切だと思う割合

思　　う	どちらかといえば 思う	どちらかといえば 思わない	思わない
75.0%（78世帯）	25.0%（26世帯）	0.0%（0世帯）	0.0%（0世帯）

（2）こどもの1日当たりの読書（読み聞かせを含む）の時間

1時間超	1時間以下	30分以下	全くしない
0.0%（0世帯）	4.8%（5世帯）	68.3%（71世帯）	26.9%（28世帯）

（3）保護者の読書が大切だと思う割合

思　　う	どちらかといえば 思う	どちらかといえば 思わない	思わない
51.9%（54世帯）	42.3%（44世帯）	4.8%（5世帯）	1.0%（1世帯）

アンケートに回答した世帯全てが、こどもの読書は大切だと“思う”“どちらかといえば思う”と回答した一方、こどもが読書（読み聞かせを含む）を“全くしない”と回答した世帯の割合は26.9%（28世帯）、概ね4世帯に1世帯という結果になりました。

また、こどもの読書が大切だと“思う”世帯の割合は75.0%（78世帯）と高い割合を示しているのに対し、保護者の読書が大切だと“思う”世帯の割合は51.9%（54世帯）と約半数になっており、こどもの読書活動を推進するには、読書に対する保護者の意識向上を図る必要もあります。

これらの状況や本計画の基本的視点を踏まえ「第3次能代市こども読書活動推進計画～こども向け版～」を別に作成し、主に未就学児から小学生、保護者の皆様へ読書の楽しさや大切さ等をお伝えすることとしました。

第3次能代市こども読書活動推進計画

令和7（2025）年3月

発行・編集	能代市教育委員会 生涯学習・スポーツ振興課 〒018-3192 秋田県能代市二ツ井町字上台1番地1 電話 0185-73-5285 MAIL shou-suppo@city.noshiro.lg.jp
-------	---